

<金標準、売り込み過ぎの巻き戻しで 25000 円へ・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は、イランのホルムズ海峡の閉鎖を解除しなければ、イランのエネルギー施設やインフラ施設への攻撃を実施する期限を 27 日から 4 月 6 日 AM8 : 00 (日本時間 7 日 AM9 : 00) へ延期している。しかしトランプ大統領の 15 項目になる停戦要求項目は、イランが到底合意できる内容にない事、またイランもトランプ大統領に 5 項目の条件を出しているが、トランプ大統領が承諾する事が出来ない内容である。そのため週末に米国とイスラエルは、イランの核関連施設や製鉄所を空爆し、イランも湾岸諸国にドローンや弾道ミサイルで報復攻撃を行っている。そのため市場では、楽観した停戦機運は一変し、戦争の長期化懸念から原油価格は WTI で 100 ドルを超えるなど、リスク逃避から株価の下落、金利上昇、ドル高の動きを見せている。しかし今までであれば金価格も売られる動きを見せていたが、本格的なインフレ懸念や売られ過ぎた巻き戻しから買われだしており、従来のリスク逃避の動きが強まると思え、25000 円への回帰相場が続くと思われる。

<テクニカル>

金標準先物の日足の MACD では、MACD が下げ渋り、シグナルも下げている。RCI は短期が上昇しながら、長期は下げている。特に日足が指数平滑移動平均線のレンジに戻りだしており、24000 円を回復しながら 25000 円へ向けた戻り相場に注目した方が良いと思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 10,230,000 円(2026 年 3 月 30 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 105,600 円(2026 年 3 月 30 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>